



3月号 発行所 全日本仏教会 東京都中央区築地3-15-1 (本願寺内) 振替東京37600
発行人 伊藤勝淳 編集人 柳 了堅 電話 (542) 2969-8666 (541) 0313

仏教徒のねがい

1. 仏に帰依し、仏の教えに帰依し、仏の教えをまわぐ人々に帰依して正しく明るく生きぬく人間となります。
 2. 仏の智慧と慈悲に照らされて、さとり道の道を求め、真実の自己にめぐめると共に、多くの人々に仏のおしえを伝えます。
 3. みずから戒めを守り、行ないを反省し、生かされている身の幸せに気づいて、あらゆる恵みに感謝し、叡智と愛情をもって明るい生活を築きます。
 4. みずからとらわれと偏見をすてて、真実を正しく見、創造力を養い、個性を伸し、よるこんで世のためにつくり、自他平等の幸せな社会を作ります。
- (全日本仏教会制定)

彙報

★全仏常務理事會

財団法人全日本仏教会常務理事會は、一月二十七日午前十時五〇分から京都の浄土宗総本山知恩院會議室でひらかれた。

出席者は、豊原大潤理事長、松村寿顕、鶴岡隆玄、杉谷義周、竹内良恵、華山恵光、小野塚潤澄、上野頼栄、村上道隆、下川弘義、村瀬良彦の各常務理事、事務総局から黒田事務総長はじめ全局部長が出席。まず豊原理事長のあいさつにつき議事に入り、議事録署名委員に小野塚潤澄、松村寿顕の両氏を指名。

第一号議案 昭和四十二年度財団法人全日本仏教会事業計画案ならびに歳入歳出予算案を黒田事務総長が総括説明、各全局から詳細な説明があり、質疑のち原案どおり承認。

第二号議案第十五回全日本仏教徒會議については所管全局部長からこの行事の名称をこれまでの仏教徒會議から仏教徒大会に変更する理由について説明、岐阜県和泉市和泉正会長、加納博司大会実行委員長から大会の概要につき報告。行事の名称は次回からは再検討するが、本年は仏教徒大会とすることを承認。

第三号議案 衆議院議員候補者推せんについては当局原案通り承認、とくに希望条件とし

て、今後の選挙対策はもっと早くから行ない、当選者をもって仏教議員連盟というような組織体をつくるべきであるとの意見のべられて閉会。

★全仏評議員會

財団法人全日本仏教会評議員會は昭和四十二年度の事業計画および予算案審議のため、二月七日午後一時からひらき、神野真一評議員(東京都仏連)を議長に推し、理事會で決議した原案の報告、各評議員の意見開陳があり一旦休憩、ただちに理事會にうつり両案件とも原案どおり可決。さらに評議員會にうつり、理事會の報告を承認、午後三時三十分閉會。引つづき懇談會にうつり全仏の今後のあり方について意見を交換した。

★全仏役員人事 (四十二年二月七日付)

常務理事	中村貞元
常務理事	訓 朝 信 雄
常務理事	竹内良恵
常務理事	草 繁 全 弘
理 事	守 中 隆 璋
理 事	奥 博 良
理 事	山 田 義 道
監 事	野 口 有 興
(退任)	
常務理事	高峰秀海
常務理事	義 輪 英 章
常務理事	宮 崎 文 輝
常務理事	金 剛 秀 一
理 事	須 佐 晋 竜

理事 中西 慈海
監事 野々部 利行

★京都で全仏新年懇親會

全仏の第二回新年懇親會は一月二十七日午後三時から京都、浄土宗総本山知恩院で開られた。賀客一〇〇人。まず、黒田事務総長の開會のことばにつき会長岸信宏殿下の主唱による三皈依ののち新年の賀詞、理事長豊原大潤師のあいさつ、全仏の団結と発展を希うために妙心寺古川管長、訓朝大谷派宗務総長、知恩院鶴岡執事長、小野塚豊山派宗務総長、京都府仏教会奥会長、天台宗杉谷宗務総長、間野大阪府仏会長、塚原四天王寺執事長などの諸大徳から發言があった。上野智山派宗務総長の主唱で万歳三唱。神田関西事務総長の閉會の辞で午後五時すぎ散會。

★山梨県仏の記念大会

山梨県仏教会は昨年十一月に全仏に加盟したが、その加盟記念大会が二月二十六日午後一時から甲府市県民会館映画講堂で催された。県下の各市郡仏教会、各宗派の代表約三百人が参加し、身延山法主藤井日静親下の導師で平和祈念法要があり、ひきつづき黒田全仏事務総長から加盟承認証の交付があつて記念講演會にうつり、全仏派遣の東大教授笠原一雄氏の「仏教徒は何をなすべきか」は出席者にふかい感銘をあたえて午後四時

散會。

★福島県仏のベトナム救援

福島県仏教会は、かねてベトナム救援の運動を展開していたが、これまでに集った慰問品を携行して、二月二十五日羽田発で吉岡棟一会長が、サイゴンへ向い、三月四日まで現地にとどまり、化導院のタムチャウ師や仏教徒指導者と今後の救援に対して懇談する。慰問品は、衣料二、八〇〇点、図書二、〇〇〇点、薬品その他である。

★時局対策宗教者會議の総會

創価學會、公明党の政治進出を批判する宗教各界の有志により一昨年十二月結成された「時局対策宗教者會議」の初の総會が、二月六日午後一時から渋谷区代々木の妙智會館でひらかれ組織拡大、規約改正、都知事選対策、政党への要望書など協議した。記念講演として「公明党の野望」で大石秀典氏が「都知事選をめぐる各党の思わく」で新井日経政治部長が演述。東京仏教團関係からも多数出席したが全仏からは、稲田総務局長、柳組織部長が出席。

布教用の素材
なら なんでも……
ご一報 お尋ね下さい

スライド
圧縮 縮小
写真機 など

教杖センター
下町・花町
油小路角
(37) 4541
各種制作

里から寺へ

(一)

かすかなりとも護持

司馬遼太郎さん



司馬遼太郎さん

というのである。出来れば東大か京大に行ってしまうって、大正大学にゆかない。ついには寺を継ぐことをきらって土木技師かなんかになってしまふ、というのである。ちなみにその友人は作家である。

なるほど、と私はおもった。村々の門徒たちも自分の檀那寺の子があまり秀才でないことを望むというはなしをきいたことがあるが、その気持がわかるような気がした。

私も二十代のころは、仏教の沈滞と仏教僧のだらくを観念的にふんがいでいた。いま、四十代の半ばにちかずにいる。物事の微妙さがわかるようになってきたが(ときに微妙さのなかに本質があるということもわかってきたが)、寺院の問題もそのことである。

仏教は興隆すべきであるという。宗門は飛躍すべきであり、仏教僧はふるいたつべきであるという。しかし、そういう議論にはあまり与さなくなくなってきた。仏法も寺院も、護持こそ大切である、ということが、すこしはわかってきた。

護持こそありがたく、たとえ怠けながらの護持か。

千葉耕堂著

150円

亡国の書『人間革命』解剖

目次

池田大作著『人間革命』を分析する
人間革命第二巻は亡国の書

則と御利益の体験談
板マンダラの本尊の実体
道場破りの七人の学会員
生長の家本部へ折伏
「さすがは戸田城聖」と思わせる作者の意図

天皇の存在を軽視
教育勅語に対する牧口の酷評
公明選挙連盟の被害
卑劣なスパイ行為

参院選の不法行為
世界宗教界の動向に鑑み、創価学会幹部の
猛省を促す

異教徒間の親和交流
創価学会の折伏大行進
新宗連で犯罪白書を刊行
学会発展の最大原因
宇宙大なるの運行に従え

「宗教センター」への学会加盟問題
創価学会政治進出への厳正批判

池田会長の「南米発言」
飯坂学院大教授の厳正批判
政治進出は創価学会の自殺行為

でもありがたい。そういうことが、しみじみとわかってきた。

私の家内の母親が、一昨年他界した。そのお仏壇をいまあずかっているから、月に二度は私にとつて他宗の僧である真言寺院のわかい住職に来ていただいている。どこをどうみてもすぐれたひとではないが、いかにもお仏飯育ちらしい、なまみのなかに経巻が香っているようなところがあり、そのひとの説経がそれだからこそいかにもありたい。そう思えるようになっていく。

仏法の興隆、宗門の飛躍といった理想主義的な興奮よりも、なによりも片田舎の一カ寺の護持、またかすかなりとも御法義の護持こそ、天地の重さ以上に大切であるとおもふのだが、どうだろうか。

実業之世界社



全日本仏教会では、当選された衆議院議員に対し、つぎのアンケートを求めた。

1. あなたは宗教政策、とくに既成教団に対してどのように考えられますか。

2. 全日本仏教会に希望されること。

(1) 既成宗団の教えを広く、特に若い世代におしひろめることが必要であると考えています。

(2) 積極的に組織を拡充した下部機構が、活発な活動されることが望ましい。



谷川 穂一
田川 誠一

(1) 精神文化の再認識が強く要請されているとき、既成教団に対する期待は甚だ大きく、穏健にして強力な伸張を望んでやみません。
(2) 上記の趣旨により御発展を切に祈ります。



海部 俊樹

(1) 宗教、道徳を尊重し、社会道義の向上を計る。
(2) なし



小川 半次

(1) 最近、やたらに新興宗教が台頭するのは、日本人の精神が混乱している証左である。幾多の善智識、高僧によって結成された各宗団を擁護する



渡海 六三郎

(1) 特に努力を尽します。
(2) 各宗派の連絡を密にし、創価学会などの台頭を抑えるため大運動を起さるため国会で働く。

地崎 宇三郎
(1) 私は、政治的圧力団体の弊害を叫んで一人です。特に宗教教団が政治に関与し、政治力をもってその温存を図るとか、或はその勢力を拡張するようなことは、日本の議会民主主義を破壊するものと考えます。

私が貴会の推選を受けましたのも、私が熱心な信徒であるからではなくて、私の世界観や政策を支持されたものと解しております。
国民が既成教団に期待するものは、後退したわが国の精神文化を高揚して、安定した明るい社会を創造することにあると思えます。
新しい時代、新しい世代に焦点を合わせ、教団もまた進歩しなければなりません。

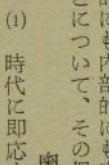
(1) 青年婦人尼を対象とした、精神運動を展開されたい。特に仏教が儀式という暗い固定化したイメージから脱却して、楽しいふんい気の中に青少年を誘うように希望する。

(2) それには、寺院がその地域社会における、文化センターとしての役割を果たすことが、当面の任務であり、この運動には政府も助成すべきだと考える。



箕輪 登

(1) 祖先を尊び敬う宗教の普及に依り道義の徹底を期する必要がある。各宗を総合統一した仏教会などの組織の拡大強化を切望する。



奥野 誠亮

(1) 時局に即応する宗教活動を振興して、積極的に社会教育を通じ、青少年の不良化防止に献身してほしい。法域に籠るのみでは、既存の宗教は衰亡すると思う。
(2) 社会教育の中核となるように活躍を望む。

永末 英一
(1) 古い伝統を現代的な国民感情と合致させ、既成宗教がますます健全に発展するよう努力します。
(2) 誤った宗教に負けることなく、政治的にもっと発言していただきたいと思えます。



坂田 英一

(1) 形式的な葬祭行事も大切なことであるが、より大切なことは、各宗派はそれぞれの立宗精神に則り互いに連携して仏教の、生命の尊厳、人格の尊重、自利利他円満の精神をもって、人心の退廃と各種の相克争いを防ぎ、更に進んでは世界の平和に貢献して欲しい。

(2) 宗教は権力に屈することなく、一党一派に偏することなく、自らの宗教教を布教し、時代に則した宗教活動をもって、世の中の浄化と人心の安定をはかるべきで、政党を批判し、注文をつけることはよいが、自ら政党を組織し政治にタッチすることは、おろおろ深刻な闘いを惹起することは歴史の証明するところであり、慎重に考えて欲しい。

株主の礼拝
平和な家庭

株式会社
小堀仏具店

本店 京都府 烏丸通 東本願寺前
電話 37-2195 (代表) ・ 37-1256

東京店 台東区 西浅草 1丁目 6番5号
電話 844-3715・6656・841-8328

大谷ご本願、室内改装
ご住職設計施工の家に
浴しました。

岡野正副統理の栄誉

孝道教団岡野正道統理と岡野貴美子副統理は、永年日本とセイロンの親善のために尽力したのでセイロン政府から国費として招待され、さる一月二十三日セイロンへ。統理はセイロン国最高の榮譽に輝く最高文化功勞

章と、仏教哲学博士の称号を授けられ、副統理も文化功勞章を授けられた。一行はコロンボ市のホテルスグールの世界僧伽会議に出席し二月七日帰国した。



2月5日コロンボのホテルで催されたレセプション。左からセイロン総督夫人、岡野統理、セイロン総督、岡野貴美子副統理。

ベトナム統一仏教会長へ
メッセージ

二月二十五日午前十時三十分羽田発エアーフランス機で、ベトナム慰問の旅に向った福島県仏教会長吉岡棟一師に托して、全日本仏教会は、岸会長のメッセージを、ベトナム統一仏教会長あてに送った。

このたび福島県
メッセージ
貴会におかれては、貴国が戦乱のうちにあるにもかかわらず、仏陀の正法を堅持していささかのゆるぎもなく、仏道の修行に、衆生の救済に、不惜身命

仏教会長吉岡棟一師が貴国を訪問するにあたり、メッセージを托する機会を得ましたことは、私の欣快に存する次第であります。

の働きをされておられることに
対し、私は衷心より敬意を表す
ものであります。

仏陀の偉大なる慈悲のみ心
は、思想の対立を乗り越えて、
真の人類の平和をもたらすこと
と信じております。日本の仏教
徒は、ベトナムに平和の朝が訪
づれることを、心の底から熱望
しております。

貴会が今後ますます仏道の昂
揚に力をいたされ、ベトナムの
民衆にあまねく仏陀の慈悲をそ
そがれ、真の平和をうちたてら
れんことを祈念申し上げます。
昭和四十二年二月二十五日

寄付金を発送

インドのダルマパール生誕百
年記念国際仏教会館建設に対
する日本仏教徒の寄付金は、全
仏から各方面に浄財の寄進を求
めていたが、このたび外為法に
よる送金が許可されたので、さ
る二月四日二百五十万円を、イ
ンド大菩提会あてに送金した。

パール博士追悼会
二月十日午後三時から、世界
連邦建設同盟、日印協会、そ
の他数団体の主催、全日本仏教

会、ほか数団体の後援で、築地
本願寺でインドのパール博士の
追悼会が営まれた。

パール博士は東京裁判で日本
の無罪を主張し、多くの日本人
から尊敬され親しまれてきた
が、さる一月十日、八十一才の
高齢で逝去されたのである。

駐日インド大使、田中栄一衆
議院議員、東条、板垣両大將未
亡人、元軍務局長佐藤賢了氏な
ど、故博士の徳を偲ぶ百数十人
が参列し盛儀であった。法要の
のち別室で追憶のパーティが催
された。

談話 ベトナムの 仏教

留学生 に聴く

ゲスト 陳徳江君
(ベトナム留学生・
慶応大経済学部)
聞き手 柳了堅 (全仏組織部長)
近藤隆敬 (全仏国際部長)

柳 陳さんは日本にいられてど
のくらいになりますか。

陳 私は昭和四十年十一月十三
日に来日し、日本の国際学友会
館で日本語を勉強しました。そ
して四十一年四月に慶応大学経
済学部に入りました。

柳 お国で宗教は何を信じてい
ましたか。

陳 私のところは父は真言宗の
信者で母は浄土宗です。私は小
学校時代に小乗仏教の学校に入
学したので、仏教に深い関心が
あります。日本では大乘仏教に

ついて研究したいと思っており
ます。

近藤 あなたはサイゴンに住ん
でいるのですか。

陳 現在はサイゴンですが、生
れはハノイから七〇キロ離れた
ところで、小学校三年の時に現
在のところに移りました。

近藤 あなたの家族はどんな職
業ですか。

陳 私の家庭は代代教師をやっ
ておりました。父は現在サイゴ
ン大学と万行大学の教授で、主
にも仏教史と文学です。

近藤 あなたも将来は教職につ
かれるのですか。

陳 いいえ、私は銀行の仕事を
したいと思っています。

柳 ところであなたの日本の仏
教観は。

陳 私は日本の歴史を勉強した
い、特に日蓮聖人、親鸞聖人、
栄西、道元両禪師に深い関心を
もっています。また宗派は外か
ら見たいと思っています。

柳 日本ではどんな寺に行きま
したか。

陳 東西両本願寺、大徳寺、妙
心寺、総持寺などですが、建築
は大変似ています。寺の規模
は日本の方が大きいですね。

柳 お国の人は仏教に対して熱
心ですか。

陳 ええ、もちろん熱心です。

ベトナムでも地方によって違
いますが、北より南の方がたい
へん熱心なようです。ベトナム
では大乘仏教が八五パーセント



組織強化策を相談

全仏組織局では、昭和四十一年度の事業計画にもとずき、三月六日午前十一時から東京築地本願寺で第一回都道府県仏教会代表者会議を開催し、組織の強化策について協議、全一仏教運動を積極的に推進する。この代表者会議は四十二年度は京都で開られる予定。

会議の趣意
既成教団においては、一、二の団体をのぞきいまだ組織が強固とはいえない。本会は各宗派、都道府県仏教会などに携わって構成されておりますが横の連絡提携において欠けているうらみがありますので本会は昨年より組織強化を重点施策

で、残りが小乗仏教です。
近藤 将来、ベトナム仏教徒と日本の仏教徒は仲よくやっていけると思いませんか。
陳 私の国は三千年の歴史があります。東南アジア諸国の人たちは日本の歴史を勉強していませんね。アメリカやドイツなどのことは勉強しますが、やはり隣の国の日本については関心をもつべきです。私は日本の文化人にベトナム人を理解してもらおうとつとめたいと思います。

柳 日本にはベトナム人の留学生はどのくらいおられますか。
陳 札幌から鹿児島まで一六八人おり、都内には四十人います。そのうち一〇五人は仏教徒です。
柳 そういう人たちはお困からの仕送りはどうなっていますか。
陳 学費の半分は日本の政府から貰っています。あとの半分は自分の家からのようです。私はすべて自費です。

近藤 日本でお友達はできませんか。日本人ばかりでなくたくさんいます。特に日本人は勉強も熱心で性格も気持いいです。話しは変わりますが、ずばり公明党についてどう思いますか。
陳 公明党すなわち創価学会は組織力はあると思いますが、内容は貧弱ですね。南ベトナムの創価学会はまだ国家で認めていませんが、現在、会員と称する人は二十人くらいです。
柳 そういふ会員に対してあなたはどう思いますか。
陳 現在の学会員は、南ベトナムの仏教界に対して不満をもっている人たちが大半だと思います。特に統一仏教会に対しては……。

近藤 その不満とは。
柳 つまりいい人とわるい人がいるということでしょうね。
近藤 あなたは日本の学校を終ると兵隊にとられますか。
陳 私はすでに軍人です。男は一定の年齢になると軍人になります。普通は二十才ですが大学に入ると二十四才まで兵役が免除されます。
柳 どうもありがとうございます。(写真)左から柳部長、陳さん(近藤部長)

時より懇親会。

- (イ) 各県仏檀信徒組織化について
- (ロ) 第十五回全日本仏教徒(岐阜)大会について
- (ハ) ブロック別会議、地方仏教徒大会、講演会などについて(報告)
- (ニ) 本部から四十二年度予算、事業など、各府県から現状報告を願いたい。なおプリントにしていただけは幸甚です。(五〇枚用意)
- (ヘ) 統一地方選挙の取扱いについて
- (ホ) 寺院の権益に関することについて
- (コ) その他

講演

「最近における宗教界の現状と宗教行政」

講師

文部省文化局宗務課長

文部省文化局宗務課長補佐

河和田 唯賢氏

教氏

賢氏

宗派人事

- 真言宗豊山派宗務所(十一月三十日付)
就任 教学部長 永見 聖宏
退任 教学部長 榑田 良洪
法華宗真門流宗務所(十二月三日付就任)
総長 上島 日敬
社会部長 本多 信敬
総務部長 林 真芳
教学部長 齋藤 日瑩
教化部長 永岡 義宏
財務部長 真枝 真慧
社会部長 真枝 真慧

全仏推せん図書

ことものくに(日本仏教保育協会編)
全国の仏教系幼稚園、保育園の園児を対象に、豊かな心を養うたいせつな宗教教育の教材として、子供にうける「ことものくに」四月号は花まつりを主題とし、日校子ども会などのテキストとして推奨したい。定価一部七〇円。申込は東京都台東区蔵前二丁目一四の一〇鈴木出版株式会社へ。

昭和42年度事業計画書

財団法人全日本仏教会

総務局

財団基金の拡充対策、本年は積極的に行なう。

組織局

基本目標 本会寄付行為第5条の事業目的たる各種仏教運動の実践及び育成を中核とし、全一仏教運動を盛り上げ、構成団体の強化を計り、もって時局に対応し、仏教の対外的宣揚と団結を期することを目的とする。

1. 第15回全日本仏教徒（岐阜大会）
2. 地区別ブロック会議 東海（三重）、関東甲信越（栃木、）北陸（石川）、近畿、中国、四国、九州、東北、北海道都道
3. 府県仏教会代表者会議（京都）
4. 公職選挙対策と推薦
5. 都道府県仏教会檀信徒組織化の推進
6. 全仏通信の発行
7. 墓地問題対策の継続
8. 権益に関する問題及び時局対応の活動
9. 地方仏教大会のしょうよう

国際局

基本目標 本会寄付行為第5条の事業目的たる世界各国WFBセンター及び仏教圏諸団体との連絡、文化の交流促進を中核とし、仏教による国際

親善と平和世界の実現を期する。

1. 世界仏教徒連盟(WFB)日本支部規程の作成
 - (1) 支部として必要なWFBに関する事項の処理
 - (2) WFB専門委員会の設置（過去のWFB大会において決議された事項の実践についての検討。その他）
2. 国際仏教運動の展開
 - (1) 訪日仏教徒の歓迎接待（接待基準を作成）
 - (2) 在外各宗開教本部との連絡
 - (3) 各国仏教会との文書による交流
 - (4) 各国仏教会への協力

文化局

基本目標 本会寄付行為第5条の事業目的たる仏教教化運動の総合的企画及び促進に目標を置き、全一仏教運動推進の一翼を担い、仏教文化運動を中心として事業を立案しその実現を期する。

1. 文化会議の開催。東京ほか主要都市2カ所
2. 第12回全仏講習会の開催
3. 仏教文化映画製作の企画研究
4. 「仏教徒の教職員連盟」の結成（継続）
5. 「全一仏教聖典」の編纂（継続）

昭和42年度歳入歳出予算

財団法人全日本仏教会

歳入 18,389,000円

歳出 18,389,000円

歳入歳出差引残高なし

歳入

単位 円

科		目	本年度予算額	前年度予算額	比 ○増・△減
款	項	目			
1	負担金		16,189,000	16,328,000	△ 139,000
		1 各宗派負担金	14,403,000	14,618,000	△ 215,000
		2 各団体負担金	1,786,000	1,710,000	○ 76,000
2	寄付金		2,000,000	1,300,000	○ 700,000
3	未納徴収金		50,000	50,000	0
4	基金果実		40,000	35,000	○ 5,000
5	雑収入		100,000	100,000	0
6	繰越金		10,000	10,000	0
歳入計			18,389,000	17,823,000	○ 566,000

歳 出

科		目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	
款	項	目			○ 増 ・ △ 減	
1	事務総局費		10,450,000	10,100,000	○	350,000
	1	人件費	6,180,000	6,130,000	○	50,000
		1 職員俸給	3,990,000	3,990,000		0
		2 諸給	1,590,000	1,590,000		0
		3 厚生費	400,000	350,000	○	50,000
		4 退職積立金	200,000	200,000		0
	2	事務費	1,970,000	1,970,000		0
		1 借館借室費	600,000	600,000		0
		2 通信費	850,000	850,000		0
		3 消耗費	100,000	100,000		0
		4 光熱費	20,000	20,000		0
		5 備品費	150,000	150,000		0
		6 印刷費	200,000	200,000		0
		7 雑諸費	50,000	50,000		0
	3	旅費	1,100,000	1,100,000		0
	4	関西事務局費	1,200,000	900,000	○	300,000
2	総務局費		2,350,000	2,532,000	△	182,000
	1	会議費	950,000	1,182,000	△	232,000
		1 理事会費	150,000	272,000	△	122,000
		2 評議員会費	100,000	110,000	△	10,000
		3 各種委員会費	200,000	300,000	△	100,000
		4 会議費	500,000	500,000		0
	2	共通事項処弁費	350,000	300,000	○	50,000
	3	調査研究費	300,000	300,000		0
	5	渉外費	750,000	750,000		0
3	組織局費		3,100,000	2,540,000	○	560,000
	1	組織強化費	1,900,000	1,270,000	○	630,000
		1 組織強化費	600,000	670,000	△	70,000
		2 仏教徒大会費	1,300,000	600,000	○	700,000
	2	時局対策費	400,000	550,000	△	150,000
	3	弘報費	800,000	720,000	○	80,000
		1 機関誌発行費	700,000	600,000	○	100,000
		2 宣伝報道費	100,000	120,000	△	20,000
4	文化局費		1,400,000	1,400,000		0
	1	文化会議費	400,000	400,000		0
	2	教化費	1,000,000	1,000,000		0
		1 講習会費	200,000	200,000		0
		2 教化諸費	600,000	600,000		0
		3 資料作成費	200,000	200,000		0
5	国際局費		910,000	1,060,000	△	150,000
		国際運動費	910,000	1,060,000	△	150,000
		1 世界仏教徒文化交流費	160,000	160,000		0
		2 国際仏教運動費	300,000	400,000	△	100,000
			450,000	500,000	△	50,000
		3 国際渉外費	64,000	64,000		0
6	雑費					
7	予備費		115,000	127,000	△	12,000
	歳 出	計	18,389,000	17,823,000	○	566,000